営農技術情報

発行年月日　令和２年5月１３日
第　６　号
たいせつ農業協同組合
営農部　農産販売課
本所　営農センター　57-2357
支所　営農センター　87-4111

移植前の育苗管理

1，苗質向上の対策を実施しましょう

①弁当肥を持たせ、活着および初期生育の促進を図りましょう。

追肥時期	肥料名	希釈倍率	施肥量	備考
移植５日前	苗床用液肥	２００倍	ポット 500ml/箱 マット 1,000ml/箱	かん注
	ＮＰ５７		ポット 3～3.5ｇ/箱 マット 6～7g/箱	施肥後、かん水を行う

②発根状態を確認し、根巻きが不十分な場合は下記を検討して下さい。

追肥時期	肥料名	希釈倍率	施用量	備考
移植５～７日前	育王	1,000 倍	500ml/箱	根巻き状態の悪い場合に使用

③移植の数日前から養分吸収を高め、丈夫な苗にするため雨や曇りの日以外は十分なかん水を行いましょう。

※本年の天候不順により圃場準備作業が遅れ、育苗期間長くなる場合が予想されます。移植までに日数が開く場合は老化苗防止の為、追肥を検討して下さい。

2，移植前の育苗確認とポイント

		成苗ポット	中苗マット
草丈		10～13 ㎝	10～12 ㎝
育苗日数の目安		30～35 日	30～32 日
移植時葉齢の目安	ななつぼし	3.6～4.0 葉期	3.1 葉期で移植開始
	ゆめぴりか	3.6～4.3 葉期	
	きらら 397	3.6～4.4 葉期	

①植傷みを防ぐため天候の良い日に行い、風の強い日は避けましょう。
②移植時の植付けの深さが２ｃｍ程度となるよう機械を調整し、第一鞘高が埋没しないようにしましょう。
※日数はあくまで目安ですので、葉齢に合わせた移植を行いましょう。

※天候不順で苗の草丈は例年より短く推移しておりますが、無理に伸ばす管理は避け、ずんぐり苗（草丈１３ｃｍ程度）の移植を心掛けましょう。

3，除草剤は正しく使用しましょう

除草剤を使用する際は、ラベル等に記載されている使用・散布時期や使用量を必ず守り、農薬の飛散（ドリフト）防止に努めましょう。

◆農作業事故に十分注意しましょう◆

トラクターなどの操作や水田に出て行う作業が本格化してきていますが、この時期から痛ましい農作事故等が増加します。計画的な作業と休息を間に取り、ゆとりを持って作業に当たり農作業事故ゼロを継続していきましょう。